

令和4年度 第2回 宝塚市図書館協議会会議録

日 時：令和4年12月6日(火) 13時00分～16時00分

場 所：中央図書館研修室

視察先：西図書館、小浜・安倉分室、山本南分室

出席者：委員 上野委員、今北委員、神崎委員、小谷委員、大城委員、林委員、藤井委員、
豊蔵委員、(欠席：黒住委員)

市 上木西図書館長、西川中央図書館係長、近藤中央図書館係長、野村中央図書館係長、
花村中央図書館係長

【会議内容】

(委員長)

駆け足で、西図書館、小浜・安倉分室、山本南分室を見せていただきました。それぞれに特徴があつて、地域に根差した図書館という印象を受けました。職員の方の熱意が伝わってくるような、それぞれの図書館であつたかと思うのですが、皆さまに今日視察された図書館についてのご意見を伺いたいと思います。感想でもご提案でもけっこうです。全員の方にお一人5分以内でお願いします。

では、今北委員からお願いします。

(今北委員)

視察ありがとうございました。丁寧に説明いただいたので、大変分かりやすく拝見いたしました。2つ質問いたします。

中央図書館と西図書館にはあるのですが、分室には雑誌コーナーがなかったので、作っていただけないかと思いました。

それから、仕事帰りに図書館を使うのですが、宝塚市の図書館は7時までしか開館していないので、どうしても調べたいことがあるときは、伊丹の図書館ことば蔵に行きます。夜8時まで開館しているので、宝塚市の図書館もできれば8時まで開館していただけたら、仕事帰りに寄って調べものができるので大変ありがたい。

この2点を何とかしていただけないかなと思います。

(上野委員長)

雑誌コーナーの設置と時間延長について、ご提言がありました。

この件につきましては、事務局に預けますので、ご検討いただき、次回にご返事をお願いします。

(神崎委員)

西図書館では、熱のこもった説明をしていただきました。職員の方がたまたま小中学校の同級生でしたので、頑張っている姿を見て嬉しく思いました。

高司中学校の生徒がトライやるウィークでお世話になっていて、平井司書の背中を見て育ってくればと感じました。

(上野委員長)

平井司書の説明を聞いて、誇りを持って仕事をされていることが伝わってきました。

(小谷委員)

自分が使っている図書館にはよく行くのですが、他の図書館を巡ったことがないので、貴重な機会を与えていただきありがとうございました。

それぞれの図書館でいろいろ工夫されて本が置いてあるだけ、情報を集めているだけではなく、人の手が入っていて温かい感じがして、居心地が良い工夫をされていることがすごく大切なことと感じました。

前回、我が校の図書館は物置のようになっているという話をさせていただきましたが、今日いただいた資料を見て、地域の要望に応えていることがあつたと思うのですが、具体的にはどういう形で地域の要望を汲み取っているのか教えていただき参考にしたいと思います。

視察で思ったことですが、西図書館では、子どものための展示や子どもが本を借りやすいような工夫がされていて、小さな子は親子で来て、図書館での楽しい体験が小さい時から積もってきて、自分で動けるようになると、図書館に来るようになるのだと思いました。そうではない子ども、生徒たちもたくさん目にしている、学校でも図書館の説明はしていますが、学校の図書館は限られた機能、状況の中なので、図書館に来て充実した時間を過ごせるというあたりを本物の図書館を使って示せばなどと思っています。

以前、教育視察で、南オーストラリア州立の高校にしばらく滞在したことがあって、その高校の図書館は地域の図書館でもあって、そうすると本物の図書館を実際に使いながら、いかに有効に図書館を使えるかということをおもいました。視察しながら、学校の図書館を充実させるヒントをいただきました。ありがとうございました。

(上野委員長)

今のご意見の中で、市民からの要望をどのように吸い上げているかという件はご質問ということでしょうか。それではお答えいただけますか。

(西川中央図書館係長)

地域の方の要望の捉え方ですが、市民アンケートを5年ごとに実施しています。人口の約1パーセント2,000人を対象に、図書館の利用の有無に関わらず実施しています。

来館者に対するアンケートは3年ごとに実施しています。その他、ご意見箱を置いています。また、「市長への一言」で行政の仕組みとして意見をいただくこともありますし、現場の司書の職員が対応している中でご意見を伺い、会議などで情報共有し反映していくこともあります。

また、蔵書に関しては、リクエスト、購入希望をしていただいて、司書で選定をしたうえで購入したり、他の図書館から借り受けてお貸するという形で要望にお応えしています。

(上野委員長)

私からもお伺いしますが、ご意見箱に入っている意見についてのフィードバックは具体的にされていますか。スーパーマーケットなどでは、要望に対して、こう対応しましたという形で掲示されていますが、そのあたりはいかがでしょうか。

(西川中央図書館係長)

かなり以前はそういった対応もしていましたが、現在は、連絡先を記入いただいた方には個別に対応しています。匿名の方に対しては、対応ができていません。ただし、ご意見を無視しているわけではなく、貴重なご意見として反映しているものもあります。

(上野委員長)

きちんと対応されていることをお聞きして安心しました。続いて、ご意見をお願いします。

(大城委員)

視察ありがとうございました。私は、ボランティアで視覚障害者の方に向けてのテープライブラリー宝塚という団体におりまして、今回、宝塚市の図書館が40周年ということですが、私たちのボランティアは48年なので、図書館より古いのだと改めて思いました。

西図書館と中央図書館では、対面朗読室を使って視覚障害の方に取扱説明書や読んでほしい本を持ってきていただいてお読みしていますので、図書館はよく利用します。

西図書館は、私の息子が小さい頃から「子どものためのぬいぐるみのおとまり会」があり、今も人気だとお母さんたちの間でよく聞きます。図書館には児童館とは違う楽しみ方があるので、息子が小さい頃は、西図書館の駐車場が無料だったので車で行ってよく利用しました。

今回、小浜・安倉分室に初めて伺ったのですが、宝塚ホテルの椅子が置いてあって良いなと思いました。

山本南分室は、来館される方に応じてと思いますが、趣味の本や子ども向けの本がとても多くあったなという印象です。

NHKのEテレで、「理想的本箱」という放送をしていて、悩みを投書して、それに対して本をチョイスして、答えるという番組でした。自分は今こんな悩みを持っていて、それに対してコンシェルジュ的に、こんな本が良いですよと推薦してくれるようなものがあればと思いました。司書の方は大変かと思えますけれど。

(上野委員長)

今のご意見の、読む本の相談の件ですが、西図書館で福袋のお話を聞きましたが、テーマ別に何冊かチョイスするというので、司書の方がすごく努力されて展開されているといったお話だったかと思うのですが、そういったことを恒常的にということですか。

(大城委員)

活字離れがあると思うのですが、本の作りこみであったり、挿絵だったりとかに若い人に触れてほしいなとも思うのです。そういう相談を受けるコーナーを作って、図書館が人を呼び込むようなことをすればと思いました。

(上野委員長)

レファレンスサービスとは違うものでしょうか。図書館で可能ですか。

(花村中央図書館係長)

お尋ねいただきましたら、こういう本がありますといったご紹介をさせていただきます。ただし、その本がその人にとってベストかどうかということは分かりかねますが、最近こんな本が出版されたとか、この作家がお好きなら、こちらの作家はいかがですかといったご紹介はさせていただきます。レファレンスの一環としてさせていただきます。

児童書では、お母さんたちに、次に何を読めば良いのかということをよく聞かれます。

本来は、展示の場所で、こんな本がありますと、もっと引き込めるような展示ができれば良いのですが。皆さんが楽しんでいただけるような展示や本のご紹介に努めたいと考えています。

(上野委員長)

そういう本の相談に乗るといふサインは館内にありますか。「かりるところ」「かえすところ」といふサインのような感じでありますか。

(花村中央図書館係長)

図書館利用案内には、レファレンスサービスということで記載しています。また、本を探している方に、「何かお困りですか」とお声がけすることもあります。

(上野委員長)

レファレンスという言葉が分からない方もおられると思います。

(花村中央図書館係長)

中央図書館では、調査相談という堅い言葉になっています。また、検討したいと思います。

(上野委員長)

本の相談ができるようなネーミングを考えていただいたら、今回のお答えになるのではと感じました。

(豊蔵委員)

今日は、見学させていただきありがとうございました。

私は、山本南に住んでいまして、山本南分室を活用しています。事務局の方からも「狭い」という説明でしたが、確かに狭いと再認識しました。視察のメンバーが入っただけでいっぱいでした。使われ方ですが、予約本の受取りや返却が多いのではと思います。駅近でもありますし、そういうように使われているのではと思います。自分がよく見る棚があるのですが、ラインナップが変わっていないので、分室間で融通、交換できるような仕組みがあれば嬉しいなと思います。

(野村中央図書館係長)

現在、少しずつですが、行っています。リストの中からピックアップして、分室から本を引き上げてくださいとこちらから依頼して、それを他の分室で使われませんか、皆で共有しています。

(藤井委員)

見学の感想ですが、取り寄せ、配本は1日、1回ですか。

(近藤中央図書館係長)

毎日1回となります。

(藤井委員)

分室に行くことを楽しみにしていました。中山台は残念でしたが。

貸出冊数を見ていましたが、山本南分室は、面積が狭いのに貸出冊数を多く出していると驚愕しました。今日、見学しましたが、これは分室なのか、コーナーではないかと思いました。

大阪府下の図書館は全館見ましたが、これだけの冊数があるのに、図書館がサボりすぎではないかと思いました。場所の確保をしないといけないと思います。先程、小谷委員からもお話がありましたが、学校図書館との併設も考えられる。いくらなんでも狭すぎる。山本南分室は、現物を見ることができないので、取り寄せが多くなっている。それなら、現物を見る方が良いのではないか、少しでもスペースを広げる方が良いのではないか。その交渉を怠ってはいけないと思います。

中山台分室は見られなかったが、運営は業者委託か、地域の団体の方ですか。

(花村中央図書館係長)

地域団体です。

(藤井委員)

大阪府下の吹田市の健都では、カルチャーセンターと組んでイベントを行っている例もあります。また、同じく吹田市の北千里図書館は分室から分館になっています。

見学した小浜・安倉分室は、隣に自習室もあり、環境は良いと思いますが、山本南分室に関しては、これだけの貸出冊数があるのなら、ロビーを使わせてもらうなどの工夫を考えていただきたい。

(上野委員長)

今のご意見に対してはいかがですか。

(近藤中央図書館係長)

おっしゃる通り山本南分室は狭くて、公民館と交渉して少しでも場所を確保できればと今後も努力はしていきます。公民館も団体の利用がありますが、それも踏まえて交渉をしていきます。できれば少しでも広げたいというのが本当のところですよ。

(上野委員長)

山本南分室は、2011年に開設されていますので、もう10年が経過して、実績が十分あるということで、是非、強く要望していただきたいと思います。

(林委員)

今日は貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

印象に残っているのは、西図書館の、子どものためのコーナーと雰囲気づくりが良かったと思いました。

山本南分室の小ささ、スペースの狭さが気になりました。人数が多いと密になって出ないといけないところなど、他の方にも気を遣いながら入らないといけないのかなと思いました。数字を見ると、かなり高い貸出状況なので、変化が必要なのかなと思いました。

(藤井委員)

先日、読売新聞の投書欄に、宝塚の分室に関する記事が載っていました。分室を利用して、大活字本を読んでいますとの内容の記事でした。今日、図書館からお話がなかったので、紹介しました。

(上野委員長)

西図書館のおはなしの部屋が非常に工夫されているのご意見がありましたが、私が印象に残ったことは、天井に青空の壁紙を貼っていたことです。以前、ニューヨークの公共図書館に行ったときに、天井にフレスコ画が描かれていて感動しました。「世界の夢の図書館」という写真集があるのですが、ヨーロッパやアメリカの歴史のある図書館は装飾の部分にお金がかかっている、それを真似するのは無理としても、西図書館の天井に青空の壁紙が貼られているのを見て「世界の夢の図書館」を思い出しました。ああいった仕掛けは大切だなと思いました。小さな子どもが天井を見たときに、青空が見えるのは良いなと思いました。

それから、小浜・安倉分室の応接セットですが、宝塚ホテルの歴史のある調度品を譲り受けられてい

るということは良いのですが、並べ方がどうなのかと疑問に思いました。喫茶店みたいで、ちょっと違うなと感じました。専門家がおられたら、どのように配置したら図書館の中の応接コーナーのようになるのか考えてみてはと思いました。

本日は良い経験をさせていただきました。素晴らしい企画を立てていただいて心からお礼を申し上げます。本日は、ありがとうございました。

では、事務局にお返しします。事務連絡をお願いします。

(西川中央図書館係長)

本日は、お疲れさまでした。次回の開催ですが、例年、年度内に3回開催しており、その例ですと、3月末までにあと1回開催する予定です。テーマとしては、次年度の事業計画などが中心になります。追って、みなさんのご都合を伺い、調整のうえ開催します。

(花村中央図書館係長)

先程の市民アンケートの件につきまして、12月上旬に市民の皆さまに郵送します。市民2,000人に送付いたします。今回は、インターネットからも回答ができます。「こうなればもっと図書館を使う」というようなご意見をお聴きする質問もあります。もし、アンケートが届きましたら、ご協力をお願いします。無作為で抽出し、小学校区ごとに1%としていますので、地域の声も吸い上げることができればと考えています。

(西川中央図書館係長)

では、本日は終了します。ありがとうございました。

-以上-